

(写真・文 太田祥作)

## コアニチドリ

(学名 : *Hemipilia kinoshitae*)

【ラン科】



▲ 湿った岩場に着生する

▲ 花は1 cmほど。  
茎の先に2～5個まとまって咲く

6月頃、湿った岸壁に咲く可憐なランの一種です。花は白色や薄紫色で、下に伸びる花弁(唇弁)は3つに裂け、その中央に紫紅色の斑紋が一對あります。茎は1.5 cm程度で、広線形の葉が1～2枚、茎を抱くようにつきます。全体的に小ぶりで華奢なランです。

コアニチドリの「コアニ」は、秋田県上小阿仁村(かみこあにむら)で発見されたことに由来します。また、ランには花の形を千鳥が飛ぶ姿に似ているとして名付けられた種が多くあり、本種の「チドリ」もそれに類するものでしょう。

コアニチドリは日本海側の多雪地という特徴的な分布を示し、北海道と本州の東北・北陸地方から見つかっています。福島県では会津と県南から記録されているようですが、稀であり、さらに全国的にも希少なため、環境省と福島県のレッドリストでともに絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。

そんな珍しいコアニチドリですが、只見町では複数の産地が確認されており、溪谷沿いの湿った岩盤に着生する姿を見ることができます。場所によっては数十個体が群生しています。多雪地を好むコアニチドリにとって、雪食地形による岩場に富んだ只見の山は生息に適しているようで、雪国・只見を象徴するランと言っても過言ではないかもしれません。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター（電話0241-72-8355）までお問い合わせください。

企画展「誕生から10年。只見ユネスコエコパークの  
ここまでを振り返り、これからを考える」

会期：2024年4月27日(土)～9月1日(日)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー